

豊富地区

小地域ケア会議通信

すまいる・つうしん vol.8

毎日だれかとしゃべっていますか？

あなたの地域を愛していますか？

未来のために何かがんばっていますか？

この通信は心をつなぐ通信です・・・

ちょっとだけのぞいてみてください！

豊富地区の目指す姿（キャッチフレーズ）

と→とない同志で
 よ→よっちゃぼって
 と→ともに達者で
 み→みんなあ～生きるじゃん

これからも、
 ともに
 達者で...

◆ボランティア移動・お出かけサービス◆

移動が困難な方に対し、ボランティアの方が送迎します。

対象者	中央市在住で、下記のいずれかに該当する方 ①概ね65歳以上 ②自立で乗降できる、もしくは介助者と同伴で乗降できる。 ③外出支援チェックシートに該当 (項目)外出手段がない 定期的に人と接することがない 毎日の生活に充実感がない 等
目的	買い物、趣味の活動、病気 など
時間	平日 午前8時30分～午後5時まで ※祝日、年末年始は除く
内容	運転範囲 中央市内 利用回数 月3回まで 利用料金 0円 但し、ガソリン代等実費負担(300円)有り 駐車場代等、別途利用者負担
利用方法	利用希望日の10日前までに社会福祉協議会までご連絡ください。 なお、内容変更する場合は、7日前まで受け付けます。 ※利用例 ◎利用希望日が4月10日(木)の場合 ⇒◎利用連絡は4月1日(火)までにする
協力員 (運転ボランティア)	・社協が指定する講座を受講した方(年2回開催予定) ・75歳未満の方 ただいま協力員の方を大募集しております!!!!
その他	総合病院や、その他混雑することが見込まれる病院等に関しては、終了時間が予測しにくいいため、片道(行き)のみの対応とさせていただきます。

協力員
募集中

☆お出かけサービス・協力員についてのお問い合わせ先☆

中央市社会福祉協議会 055-274-0294

豊富地区小地域ケア会議は、豊富地域に関わりのある様々な代表者が参加している会です。
 安心して地域で暮らすために、豊富地域に必要なことを考えていきたいと思えます。
 相談・意見・要望等ありましたら、連絡をお待ちしています。

○連絡先：中央市役所福祉部長寿推進課 電話 274-8556
 地域包括支援センター 電話 274-8558



中央市では37の地域サロンが活動をしています。その中で、豊富地区で活動しているサロンは6ヶ所あります。サロンによって活動日時や内容が異なります。

ふれあいサロン・高部

開催場所：高部自治会館（角川公民館隣）
開催日時：
百歳体操 毎週木曜日 午後1：30～
ふれあいサロン 第2木曜日 1：30～
参加人数：百歳体操 約15名
ふれあいサロン 約30名
参加費：無料

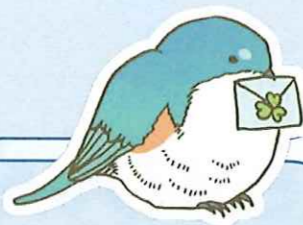


ホッとスペース Myu

開催場所：ホッとスペース Myu（新道）
開催日時：
百歳体操 毎週水曜日 午前8：30～
キャパシタセルフケア体操等 不定期
参加人数：百歳体操 6名
その他 参加希望あれば随時対応
参加費 無料 希望者のみテキスト実費

宇山百歳体操の会

開催場所：宇山公民館
開催日時：毎週月曜日 午後1：30～
参加人数：約8名
参加費：無料



浅利桜グループ

開催場所：浅利公民館
開催日時：毎週金曜日 午後1：30～
参加人数：約8名
参加費：無料



久保サロン

開催場所：久保公民館
開催日時：月1回第2・3どちらかの木曜日
午前10：00～
参加人数：約20名
参加費：100円

上手サロン

開催場所：上手公民館
開催日時：毎月第4日曜日 午後1：30～
参加人数：約13名
参加費：無料

基本的には同じ自治会の方が参加できます。ただ、参加人数の減少や自治会によっては他地区の方の受け入れをしているサロンもあります。

サロンに関するお問い合わせは

中央市社会福祉協議会 055-274-0294 へお願いします。



小地域ケア会議って？



小地域 ケア会議

平成25年11月から小地域（田富地域・玉穂地域・豊富地域）ごとに、小地域がそれぞれの抱えている課題や必要なこと、課題を解決するための方法を話し合っています。
※小地域とは・・中央市では旧町村単位を一つの地域として考えています。地域によって住んでいる環境が違うため、課題もさまざまです。

令和6年度 の活動

- ①豊富地区が今抱えている課題について確認する
- ②自分たちができることについて話し合う

① 自分たちに何が必要なのか、どんな困りごとがあるかなど、再度話し合いを行いました。話し合いの中では、「近所にどんな人が住んでいるのかわからない」「組に入っていない人が多く、交流がない」「畑が忙しく通いの場には行かないという声を聞く」といった地域の繋がりの希薄化を心配する声や、「防犯や防災について知らないことが多い」「安否確認の方法がない」「消火栓がどこにあるのかわからない」といった防災や防犯に関する意見もありました。

また、年々生まれてくる子どもが少なくなり、少子高齢化社会を迎えた今、地域での困りごとは他人事ではなく自分たちのこととして解決に取り組んで行きたいというメンバーの想いから、今年度は自分たちでできることについて話し合うこととなりました。

② 自分たちでできることを話し合った結果、「地域のつながりが生まれるような集まりの場を作る」といった方向性が定まりました。次年度は、実際に集まりの場の立ち上げに向けて対象地区や時期、活動内容等を検討していくこととなりました。



- (敬称略)
- 【医師】小林正洋 【市議会議員】福田清美 【自治会長】土橋守 【民生委員】三木多喜男
 - 【ことぶきクラブ会長】櫻井喜久男 【商工会】小沢春生 【駐在所】森清人
 - 【市民代表】長島幹夫・後藤正興・古寺孝子・村松廣光 【げんきかい代表】村松真知子・上野いつ子
 - 【社会福祉協議会】中込涼 【生活支援コーディネーター】薬袋哲 【介護支援専門員】深味友広
 - 【市役所・健康増進課】笠井柚葉 【市役所・長寿推進課】青柳勇一・長沼なつ美・大関初美